

H24-P3, H24-P10(防災・安全) 災害に強く円滑に通行できる道路整備

社会資本整備総合交付金(H24-P3)
防災・安全交付金(H24-P10)

京都市の課題

本市の山間部では、災害時に強く、円滑な救助や輸送ができる道路ネットワークの整備が遅れている。

対 策

山間部の幹線道路における「すれ違いが困難な区間」及び「見通しが悪い区間」を解消する道路整備を進めます。

成 果 目 標

- ①山間部集落から中心地域(区役所)までのアクセス時間短縮
— 分(H21当初) → 5分(H23末) → 10分(H25末)
- ②国道・府道の山間部道路で災害により通行規制を行った件数の減少
13件(H21当初) → 12件(H23末) → 11件(H25末)

事業が完成すると？

- ・山間部と市街地部の連携の強化
- ・安全で快適な通行が可能
- ・災害時の緊急輸送路の確保
等の効果が期待されます。

更にこんな効果が

- ・CO₂, NO_x排出量の削減
- ・防災対策が必要な箇所の解消

整備イメージ等

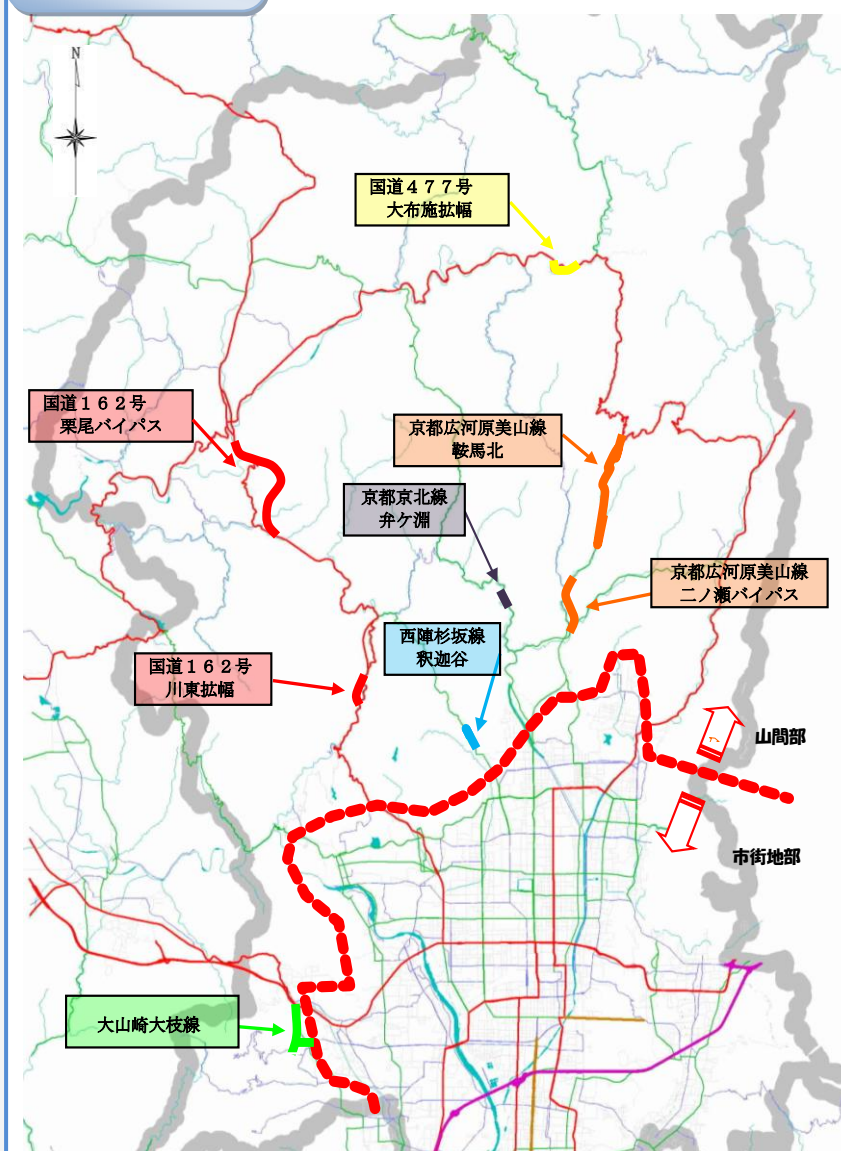
道幅が狭く離合が困難



バイパス整備等により快適な通行が可能



主な事業箇所



※ 財政状況、事業の進捗状況等により今後適宜見直していくこととしています。